



**Newsletter 2021 No.1**

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第58号 発行 2021年7月12日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之  
〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部内  
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)  
email: jimujsthe.org ◇学会 URL : https://jsthe.org

◇編集・発行人：大島安奈  
(oshimaan@daishodai.ac.jp)

## 【新会長就任のご挨拶】

日本観光ホスピタリティ教育学会  
新会長 宍戸学 (日本大学国際関係学部 教授)

2021年度6月総会にて、日本観光ホスピタリティ教育学会の第9代会長に選出されましたので、本学会会員並びに観光ホスピタリティ教育に関わる皆様にご挨拶を申し上げます。

### COVID-19後の観光ホスピタリティ教育の議論に向けて

2020年に世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、いまだ終息する状況になく、今後の社会がどのような方向に進むのか、誰にも予測できない状況にあります。この間、我々が研究対象とする観光分野では、移動や交流はじめ、様々な余暇活動が制限され、観光価値を生かす機会を奪われ、観光関連産業は非常に厳しい状況にあります。

COVID-19は、学校の教育活動にも大きな影響を及ぼし、観光ホスピタリティ教育においては、観光現場で課外活動や交流が出来ないことに加え、観光関連産業の採用中止や縮小により、学生達に将来の不安をもたらしています。

本学会は、この厳しい環境下においても、会員の皆様の様々な教育実践をもとに議論し、研究の蓄積を行っています。この取り組みを継続するとともに、COVID-19後の生活スタイルや人々の価値観の変化に注視し、新しい時代の観光ホスピタリティ教育がどうあるべきか、引き続き議論していくことが必要であると考えます。

### 本学会設立時の理念に立ち返って

会長就任にあたり、これまでの学会の議論を踏まえた

上で、改めて学会設立の理念に立ち返って、本学会の使命を考えてみたいと思います。本学会は、2002年に「観光ならびにホスピタリティ教育に関する研究とその連絡提携および促進を図り、もって観光ならびにホスピタリティ教育の振興に貢献することを目的」とし、設立された観光学分野では、唯一の教育系学会です。当時を振り返りますと、次の3点が設立理由として掲げられています。

- ① 様々な教育段階で活発になっている観光ホスピタリティ教育の関係者が集まって、特に教育の側面を対象として研鑽を積むことができるような学会が必要と考えたこと
- ② 観光ホスピタリティ教育分野に特化した国際的学会「The International Society of Travel and Tourism Educators、略称=ISTTE」の日本支部的な組織を設立することによって、国際的な連携を図ること
- ③ 国際的学会「アジア太平洋観光学会」(The Asia Pacific Tourism Association)の年次大会を、国際的な責務として日本でも開催する受け皿として日本における観光ホスピタリティ関連教育機関の連合体的な組織を設立すること

本学会は、設立後「日本学術会議協力学術研究団体」に指定され、様々な教育をテーマとした研究会やワークショップを開催し、FDはじめ様々な教学事項や教員として修得すべき資質に関わる議論も重ね、観光ホスピタリティ教育研究の蓄積と催事への会員の参加率及びその交流機会が多い学会として、存在感を示していると考えます。

しかし、先の設立時の理念に立ち返れば、課題も残されています。①については、現在では、初等・中等教育や普通教育における観光ホスピタリティ教育の取り組みが拡充しており、今後さらに幅広い関係者の連携を推進する必要があります。また、教育機関だけでなく、産業界とも連携し、人材育成について議論出来る学会である必要性を感じます。

②、③については、2004年に長崎国際大学にてAPTAの開催に至りましたが、ISTTEとの連携や様々な場面で国際的な学術連携を今後進めていく必要があります。

また設立時の理念に対する課題に加え、インバウンド急増による観光立国を支える教育体制の整備や教育方法の創出、そしてCOVID-19後の新しい社会における観光ホスピタリティ教育のあり方を考えていく必要があります。

### ピンチこそ、チャレンジするチャンスである

COVID-19により、観光分野及び関連教育は、苦境に立たされているかもしれませんが、しかし、ピンチは新しい価値観や勇気ある変革を必要とし、活発な議論に基づいて、新しい道を探ってチャレンジすることが期待されま

す。本学会には、様々な理念とこれまで積み重ねてきた実績があります。基本理念に立ち返りつつ、社会の変化に対応する教育機会を創出することが必要だと考えます。この状況下に、新しい分野や方法に積極的に向き合い、さらに多様でグローバルな観点に基づき、新たな会員の参画を求め、様々な価値観を受入れ、本学会が新たな段階に踏み出すことが出来ればと考えます。そのためには、会長や新役員のみでなく、会員の皆様の積極的な学会への参画及び学会外部との連携も進める必要があります。

以上から、会員及び観光分野に関連する皆様におかれましては、研究や教育はもとより、それに関連する様々な場面でチャレンジすべきご提案をいただきたいと考えます。COVID-19後の新しい観光ホスピタリティ教育のスタートを切るために、活発な議論や提案ができ、新しいチャレンジが出来る学会を目指していければと考えております。ぜひ皆さまのお力添えを賜れば幸いです。

## 【第20回全国大会報告】

第20全国大会を、2021年3月6日(土)・7日(日)の2日間にわたり、オンライン(ビデオ会議システム「Zoom」)で実施致しました。テーマは「With/After コロナ時代における観光ホスピタリティ教育のあり方」とし、各日おおよそ60名程度の参加者を迎えて盛況のうちに終了致しました。

初日のシンポジウム「コロナ禍における観光ホスピタリティ教育の再検討-キャリアの視点から」では、話題提供者にリクルート進学総研所長・リクルート『カレッジマネジメント』編集長の小林浩氏を話題提供者にお迎えし、会員から構成されたパネリストを交えて、高校生の進学意識から大学4年生の就職活動まで、キャリアの視点からコロナ禍における観光・ホスピタリティ教育の課題について議論しました。

2日目は、8件の研究報告・教育実践報告を行った後、「オンライン授業の実践状況」「カリキュラム運営の現状」をテーマとしたワークショップを実施しました。いずれのプログラムも観光・ホスピタリティ教育を考える上で示唆に富んだ内容となり、活発な議論がかわされました。

## 【名誉会員について】

2021年6月12日に開催された「2021年度通常総会」での承認を受け、名誉会員は下記4名の方となりました。

岡本 伸之 氏 (立教大学)

白坂 蕃 氏 (東京学芸大学)

鈴木 泰夫 氏 (元 帝京平成大学)

山上 徹 氏 (梅花女子大学)

## 【理事会報告】

<2020年度第6回理事会>

日時：2021年3月6日(土) 13:00~13:45

場所：オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者：小畑会長、穴戸副会長、橋本副会長、芝木理事、鈴木理事、高橋理事、千葉理事、中村理事、野口理事、福本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、難波監事、安島監事、大串幹事、大島安奈幹事、澁谷幹事

欠席者：廣岡理事、大島知典幹事、板垣幹事

[報告事項]

議事1. 第20回全国大会について

橋本全国大会実行委員長より、当日の流れの説明がなされました。シンポジウム参加予定者67名、研究発表・実践報告：66名、ワークショップ参加予定者19名となりました。

議事2. 新規事業委員会より報告

グループ研究助成制度の募集期間を延長に関する報告がなされ、応募があった場合の理事会メンバーへの審査依頼が承認されました。

議事3. そのほか

(1) 第2回研究会実施報告

33名の参加があり、盛況のうちに終了したことが報告されました。

(2) 次期理事会検討について

担当の橋本副会長より、5月理事会に付議予定であることが報告されました。

(3) 大阪大学全学教育推進機構、愛知淑徳大学からの問い合わせについて

アンケート調査への回答対応、インタビュー調査への対応について報告がなされました。

[審議事項]

議事1. 2021年度総会・シンポジウム

2021年6月12日(土)を第一候補とすることを決定しました。会場については、オンラインのみで実施・オンライン併用のいずれかで実施することとし、対面型の会場を設ける場合は成蹊大学ないしは杏林大学を候補とすることで決定しました。

シンポジウムの内容について検討を行い、最終案については正副会長で調整を行うことになりました。

議事2. 2021年度第1回理事会・研究会の日程

5月8日(土) 13:00-17:00の実施で決定しました。オンラインのみでの実施とし、テーマやゲスト講師の候補を理事会メンバーから受け付けた上で、正副会長で調整し、メール稟議を行うことになりました。

(総務委員会追記：4月21日決議のメール稟議にて、5

月の研究会実施は見送ることになりました。)

議事3. JSTHE グループ研究助成のオブリゲーションへの対応について

グループ研究助成および分科会の成果報告に関連する議論を行い、グループ研究助成制度募集要項ならびに各種規定の改正、グループ研究助成制度に関連した内規の新設を決定しました。

議事4. 入退会審査および名誉会員への推薦について

1名の入会、1名の退会を承認しました。

1名の正会員につき、名誉会員への推薦を総会に付議することになりました。

<2021年度第1回理事会>

日時: 2021年5月16日(土) 13:00~14:30

場所: オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者: 小畑会長、穴戸副会長、橋本副会長、芝木理事、鈴木理事、高橋理事、中村理事、野口理事、廣岡理事、福本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、難波監事、安島監事、板垣幹事、大串幹事、大島安奈幹事、澁谷幹事

欠席者: 千葉理事、大島知典幹事

[報告事項]

議事1. 第20回全国大会実施報告

概ね60名程度が参加し無事終了したことが報告されました。録画配信の依頼に対してはお断りすることになりました。

議事2. 各委員会報告

(1) 編集委員会

第15号の刊行計画(例年通り)および現状について報告がなされ、2021年度の事業計画について了承されました。

(2) 総務委員会・事務局(古本理事)

研究助成費の新規採択分について支払いを完了した旨の報告がなされました。

議事3. そのほか

(1) 名誉会員の推薦について

1名の正会員の名誉会員への推薦を最終決定しました。

(2) 観光系学部学科の志願状況について

資料に基づき説明がなされました。

[審議事項]

議事1. 2021年度総会・シンポジウム

2021年6月12日(土) 11:30-17:30での実施とし、今年度についてもリアル会場を設置せず、オンライン(ウェブ会議システム Zoom)のみでの運営とすることを決定しました。

(1) 総会について

事務局より事業報告・計画および決算・予算について進捗報告がなされました。また、今年度に関してはオンラインのみで参加申し込みを受け付けることが報告されました。

(2) シンポジウムについて

小畑会長・大串幹事よりゲストスピーカー2名の紹介を含めてシンポジウムの全体像について説明がなされ、了承されました。全体コーディネーターは小畑会長・大串幹事が担当することを決定しました。

議事2. 次期役員体制について

6月総会に付議する次期役員体制の候補につき、担当の橋本副会長より説明がなされ、承認されました。その後、次期会長・副会長についての議論を行いました。

議事3. 機関誌の増刷について

複数号の在庫が少ない状況で、購入申し込みが何回かあったため在庫再確認の上で増刷を行いたい旨の付議が事務局よりなされ、承認されました。

議事4: 入退会審査: 事務局

正会員1名の入会、準会員1名の退会、正会員1名の休会(郵送物等の停止)を承認しました。

<2021年度第2回理事会>

日時: 2021年6月12日(土) 11:00~12:00

場所: オンライン会議システム Zoom を用いて実施

出席者: 小畑会長、穴戸副会長、橋本副会長、芝木理事、鈴木理事、高橋理事、千葉理事、中村理事、野口理事、廣岡理事、福本理事、藤田理事、古本理事、峯俊理事、村上理事、難波監事、安島監事、板垣幹事、大串幹事、大島安奈幹事、大島知典幹事、澁谷幹事

[審議事項]

議事1. 名誉会員の推薦について

前回理事会での推薦者1名に追加して、正会員1名を名誉会員に推薦することについて検討を行い、承認の上で2名分を当期総会に付議することとしました。

議事2. 2021年度総会について

総会出席者は現時点で43名+委任状37名分となり、総会の成立要件を満たしていることが確認されました。総会に付議する事業報告・事業計画、予算・決算について、資料に基づき小畑会長、古本総務委員長、安島監事より報告がなされ、承認されました。

シンポジウムの出席予定者が76名であることが報告されました。

議事3. 名誉会員規定について

名誉会員の推薦と決定に関する規定を定めることについて議論を行いました。次回理事会にて継続審議となりました。

議事4. 入退会審査

2名の入会申請、1名の退会申請を承認しました。

## 【機関誌編集委員会】

日本観光ホスピタリティ教育学会

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第15号  
＜重要 投稿くださった先生方へ＞

『観光ホスピタリティ教育』第15号は現在投稿原稿の査読を進めています。これまでに投稿くださった先生方へは「原稿を拝受した」旨のメールをお送りいたしております。拝受確認のメールが届いていない方がいらっしゃいましたら、事務局まで、ご一報くださいますようお願い申し上げます。

本学会本部事務局 (jimujsthe.org)

## 【広報委員会】

広報委員会では、学会公式ウェブサイトに加え、学会公式 Facebook ページ、学会公式 Twitter を運営しています。本学会の活動や予定について、これらのメディアを活用して情報発信を行います。ぜひご活用ください。

また、本学会では新規会員を募集中です。特に、観光ホスピタリティ教育に関心を寄せる大学院生と実務家の入会を促進しています。手続き等について詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

さらに、観光・ホスピタリティに関連する学校や団体に向けて、本学会の全国大会や研究会、各種イベントの情報を配信しています。配信先となる学校・団体等がございましたら情報をお寄せください。

## 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人：大島安奈 (大阪商業大学)

E-Mail : oshimaan@daishodai.ac.jp

## 【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://twitter.com/JSTHEducators>

